

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会
杉の木園（生活介護）

1. 事業概要

令和4年度は、利用契約者数20名でスタートをしたが、5月に1名の利用者が施設入所へ移行となり退所をした。

新たな契約の獲得に繋がるよう支援学校からの実習を積極的に受け入れたが、次年度への契約の獲得には繋がらなかった。しかし、進路先のひとつとして考えられて、継続的に実習へ来ている生徒がおり、引き続き、実習の受け入れを積極的に行っていきたい。また、年度中に他事業所との併用利用をされている利用者1名が1日多く杉の木園を利用するようになった。(週3日利用から週4日利用へ)

昨年度同様、コロナ禍により、ほとんどの行事やイベントが中止となったが、代替行事の開催や高速道路を利用してドライブに出かけるなど、利用者の気分転換を図った施設外活動を行った。

法改正により、虐待防止委員会や身体拘束適正委員会の設置が義務化されたことを受け、積極的に施設内研修等を行い、職員には研修を受講してもらい、職員の福祉理念の向上や資質の向上を図ったが、研修の受講に関しては、新型コロナの感染拡大の影響を受け、全職員が十分に研修を受講することはできなかった。

リスクマネジメントに関して、4月に利用者1名が活動中に転倒をして骨折をするという重大な事故が1件発生した。再発防止のため、職員間での会議を重ね、なぜ事故が発生したのか、事故防止についてなど話し合い、事故の発生防止に全力で努めた。

新型コロナを含めた感染症対策について、利用者や職員に感染者が数名出たが、施設内の消毒や換気、利用者には検温、手指の消毒、マスクの着用をすすめる等の感染防止対策を徹底し、感染拡大にいたらず、クラスターの発生もなかった。

2. 職員配置

職 種	管理者	事務員	サビ管	支援員	看護師	運転手	合 計
職員数 (人)	1	1	1	6	1	1	11
備 考				男性3 女性3	非常勤		

(令和5年3月末日現在)

3. 事業内容

(1) 個別支援計画書の作成と実施

個別支援計画書を作成 利用者・家族の同意後、計画書に基づき 支援を実施。	年2回作成 実施期間 : 4月～9月 10月～3月
--	---------------------------------

(2) 利用者支援

利用者の状況 (定員：20名 契約者数：19名)

年齢	18～24	25～34	35～44	45～54	55～64	合計	平均年齢
男性	1名	1名	3名	3名	1名	9名	42.0歳
女性	3名	0名	3名	4名	0名	10名	38.0歳
合計	4名	1名	6名	6名	1名	19名	40.0歳

(令和5年3月末日現在)

利用者障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	1名	3名	2名	3名	9名
女性	0名	1名	4名	5名	10名
合計	1名	4名	6名	8名	19名

(令和5年3月末日現在)

利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数	20	22	22	20	23	21	20	22	20	18	20	23	251
延べ利用者数	340	364	373	342	391	345	340	350	336	310	343	390	4224
1日平均利用者数	17.0	16.6	16.7	17.1	17.0	16.5	17.0	16.0	16.8	17.3	17.2	17.0	16.9

(小数点第2位以下切り上げ)

① 日常生活の支援

介護の提供

介護の種類	内 容
食 事	利用者個々の健康状態や体型、年齢等により、適切な栄養量の食事を提供 利用者個々の障がいの特性や食べやすさ等を考慮し、適切な内容の食事を提供 食事の提供 19名 (お弁当持参 1名) 極刻み食 2名 おかず一口大カット 10名 等々
更 衣	着替えの介助、身だしなみ等
排 泄	トイレ誘導、排泄の介助、排泄後の処理等
移 動	移動の介助、移動中の安全配慮等
コミュニケーション	利用者個々の特性に配慮した支援等
対人関係	日常生活において円滑な人間関係を築く為の支援等
自立へ向けた支援	日常生活における困難性への対応、社会生活への適応に関わる支援等

日中活動の支援

種 類	内 容	頻 度 等
創作的活動	図工 音楽 陶芸など	月 8 回
	習字	年 4 回
	クッキング	年 0 回
	音楽療法（外部講師）	月 1 回
レクリエーション 的活動	DVD鑑賞	週 1 回
	カラオケ	月 1 回
	風船バレー 卓球バレー ボウリング	月 3 回
	フライングディスクなど	月 1 回
	感覚遊び	月 2 回
	ゲーム	月 2 回
	水浴び（プール）	夏季 4 回
自主活動	※内容は利用者が決める	月 1 回
身体能力の 維持・向上 の為の活動	散歩（室内ウォーキング）	週 2 回
	運動 体操など	月 6 回
	リラクゼーション	月 3 回
	リズム体操（外部講師）	月 1 回
作業訓練活動	箱折り作業	週 2 回
	空き缶潰し	月 1 回
生産活動 （工賃支払）	公園清掃作業（大分市より委託） ゴミ収集・トイレ清掃など 除草作業	（3名従事） 隔週 2 回 5・7・9・10 月
	リサイクル実習 （大分市障害者就労支援協議会）	（2名従事） 週 2 回
施設外活動	ドライブ	週 1 回
	外出支援	年 6 回

② 健康維持管理

項目	内容	頻度等
室温・湿度管理	エアコン、扇風機の使用により、適した室温になるよう配慮 加湿器を設置し、適した湿度になるよう配慮	季節に応じ 随時
検 温	登園後、降園前に体温を測定	毎 日
服薬管理	体調不良時の服薬の介助 体調不良時に保護者からの服薬依頼等	随 時
訪問診療	嘱託医が来園し、利用者の健康相談や必要な指導・助言等を行う。	毎 月
健康診断	内診・血液検査・レントゲン検査・血圧測定 (博愛病院にて)	9 月
	内診・血液検査・血圧測定 (杉の木園にて)	3 月
感染症予防対策	注意喚起の文書を配布 消毒・手洗いの慣行など 空気清浄機、加湿器 空気殺菌機、車用空気殺菌機を使用 手すり、ドアノブ等の消毒	随 時
緊急時対応	利用者の体調不良時に保護者へ連絡	随 時
	緊急時対応マニュアルの周知徹底	年 2 回
相談・助言	利用者の健康について、気になることがあった際は、看護師に相談等をして対応をした。 病院での受診が必要と思われる場合は、看護師が家族へ説明を行った。	随 時

③ 心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、各種サービスの利用状況、通院及び服薬の状況などの把握に努めた。

(3) 家族とのつながり

項目	内容	頻度等
相談対応	必要に応じ、家族へ報告や相談を行った。 家族からの相談には真摯な態度で対応を行った。(来園・電話・訪問等)	随時
面談	面談を行い、家族からの意見・要望等を傾聴した。 相談支援に関する会議で家族が来園した際等に、家庭での様子や施設での状態等についての話をした。	年1回 年1回以上
アンケート	職員の言動や施設に関してのアンケートを実施し、無記名で13家族から回答を頂いた。	年1回
相談支援に関すること	担当者会議やモニタリングへの出席、及び内容の説明や相談・助言などを行った。	随時
行事の開催	夕涼み会 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止代替行事として夏まつりを利用者と職員のみで行った。 クリスマス会 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者と職員のみで行った。	

(4) 他機関との連携

項目	内容	頻度等
他の福祉サービス事業所	連絡調整、情報交換等	随時
行政機関	連絡調整、相談等 各種手続き、申請等	随時
医療機関	相談、情報交換、受診の付き添い等	随時
相談支援事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随時
	サービス等利用計画作成の為の アセスメント、担当者会議、モニタリング等	随時
特別支援学校	実習に関する連絡調整等 卒業後の進路に関する会議、連絡調整等	随時
高等学校福祉科	実習に関する連絡調整等	随時
大学	実習に関する連絡調整等	随時

(5) 人権の擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の徹底を行った。 施設内で人権に関する研修を行った。	年2回 年1回
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口にて対応 「ご意見承り箱」を設置	苦情等は 無し
	福祉サービス運営委員会 (コロナ感染防止のため不開催)	年0回
虐待防止	虐待防止に関する相談等は相談窓口にて 対応	相談等は 無し

(6) リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
施設内研修	研修を行い、職員に周知、徹底を図った。	年2回
ヒヤリハット 報告書	利用者の転倒等 報告書を作成、回覧し、内容の周知を行った。 業務報告時等に対応策の検討を行った。	13件
事故報告書	活動中の転倒(1件) 送迎中の事故(1件)、物損(1件)	3件

(7) 職員の資質向上・福利厚生

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・行事・施設運営等に関する事	月1回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	年15回
施設内研修	業務改善 研修報告 事例検討など	年6回
施設外研修	県や経営協等が主催する研修会へ参加	5回
業務報告	情報交換、特記事項の報告、それに関する対 応策の検討、確認事項等を行った。	毎日
健康管理	一般健診の受診	年1回

(8) 地域交流

項目	頻度等
由布支援学校からの実習生の受け入れ	2名
附属支援学校からの実習生の受け入れ	1名
新生支援学校からの実習生の受け入れ	1名
大分南高校からの実習の受け入れ	4名
大分東明高校からの実習の受け入れ	1名
別府大学短期大学部初等教育科からの実習の受け入れ	1名
介護等体験事業からの実習受け入れ	5名
見学者等の受け入れ(障がい者とその家族、職場見学等)	延べ6名
ボランティアの受け入れ	3名

(9) 非常災害対策

項 目	頻度等
避難訓練の実施	年 10 回
総合消防訓練の実施 (地震時の避難も含む)	年 2 回 6 月 1 月
消防用設備等の点検 (業者に委託)	年 1 回 9 月
消防用設備等の自主点検	月 1 回

(10) 宿泊支援 (自立生活促進事業)

項 目	頻度等
地域社会での自立した生活の体験として行った。 家族の緊急時にも対応した。	延べ 6 名

令和 4 年度事業報告

令和 5 年 3 月 31 日
社会福祉法人 杉の木会
第二杉の木園

1. 事業概要

今年度も、コロナウィルス感染症流行の状況を鑑みながらの事業運営であった。ワクチン接種を行った実情を踏まえ、屋外に出かける行事の幾つかを、コロナ禍前の形に近づけて行うことが出来、利用者・保護者ともに喜んでいただけた。

年間行事である夕涼み交流会を夏祭りと呼んで、利用者と職員だけで行った。クリスマス会は、当初、食事なしの半日で保護者と利用者と職員で考えていたが、感染者増加で急遽、利用者と職員で行った。餅つきは、保護者のボランティアと利用者と職員で行い、季節行事を楽しむことができた。また、支援学校の実習受け入れも再開でき、その中で将来の利用希望が聞かれた。送迎で使用していた車が老朽化したため、中古の 10 人乗りのワゴン車を購入した。

2. 職員配置・採用状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

職種	管理者	事務員	サビ管	生活支援員	看護職員	運転手	調理員	計
人数	1	1	1	6 男性 3 女性 3 (非常勤) 2	(非常勤) 1	1	外部委託	11

3. 事業内容

利用者の状況 定員 20 名 利用者数 19 名 （令和 5 年 3 月 31 日現在）

年齢と性別

年齢	18~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	計	平均
男	0	3	6	2	4	15	37.3
女	0	1	1	1	1	4	38.7
計	0	4	7	3	5	19	37.6

支援程度区分

区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均
男	0	1	6	8	15	5.4
女	0	0	0	4	4	6
計	0	1	6	12	19	5.5

利用状況 (退所者含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	22	22	20	23	21	20	22	20	18	20	23	251
総利用者数	356	366	388	348	368	372	348	369	330	321	352	409	4327
平均利用数	16.1	18.3	17.6	16.5	17.5	17.7	16.5	16.7	16.5	17.8	18.5	18.5	17.3

(1) 個別支援計画書の作成と実施

利用者のニーズや適性に応じた支援内容の見直しを行い、支援者と保護者一体で支援できるよう配慮した。

年 2 回 6 ヶ月毎 ※下記 3 月は新規契約者のもの

- ・ 支援会議 8 月 (20 回) 2 月 (20 回) (延べ 40 回)
- ・ 面談 9 月 (20 回) 3 月 (20 回) (延べ 40 回)

(2) 利用者支援

① 日常生活の支援

各場面において、利用者のニーズや適性に応じた支援を行った。

《介護の提供》

- ・ 食事・更衣・排泄・移動・コミュニケーション・自立支援・側面的支援・対人関係

② 日中活動支援

利用者の意向や好みに応じて、自ら選択できるよう様々な活動場面を用意し、繰り返し継続して行うことで、自己選択の幅が広がった。

《創作的活動》

項目	内 容	年間
制作活動	絵画 貼り絵 書道 工作 紙すき 裁縫 等	72 回
レクリエーション	カラオケ DVD 観賞 ゲーム 紙芝居 等	39 回
運 動	室内ウォーキング 踏み台昇降 体操 散歩 等	131 回
	リズム体操 (外部講師)	23 回
音 楽	音楽療法 (支援員による) 楽器演奏 音楽鑑賞	36 回
	音楽療法 (外部講師)	12 回
施設外活動	ドライブ 等	62 回
	外出支援 (観光 外食 買い物 等)	4 回
その他	調理	3 回
	動作法 (外部講師を含めた対応)	22 回

《生産的活動》

項目	内容	年間
作業訓練	箱折り作業	104回
	空き缶つぶし作業	0回
	施設内清掃作業	11回
	農作業（季節に応じて）	0回

《生産活動》

項目	内容	年間
公園清掃	大分市より委託 ゴミ回収 トイレ清掃 除草	54回
リサイクル実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 缶・ビン・ペットボトルの分別作業（実習生1名）	99回
ラッシングベルト実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 クリーンサービスでのラッシングベルト分別作業 （実習生1名）	10回

③健康維持管理

毎月、医師の診断を受け、利用者の健康状態の把握に努めた。訪問診療時に、健康診断を兼ねることで、病院での待機時間や利用者の負担を減らすことが出来た。合わせて、毎月体重をはかり、利用者の健康管理に役立てた。

項目	内容	年間
衣服の調節	季節に応じた服装・暑さ寒さに配慮した支援	随時
昼食	本人の嗜好・こだわり・嚥下状態に合わせた支援	随時
	嗜好調査	1回
服薬管理	昼食時の服薬・点眼等の管理	随時
インフルエンザ 等感染系対策	消毒・手洗い慣行 施設内感染対策委員会の設置 インフルエンザ予防接種（希望者16人）	随時 1回
検温	当日の健康状態の把握	毎朝1回
体重測定	健康管理 肥満予防	12回
健康診断	健康状態の把握	2回
訪問診療	日常生活の健康管理、療養上の指導	12回
緊急時対応	保護者への連絡、病院への搬送・同行 等 緊急時対応マニュアルの周知徹底	随時
すこやか通信	18号～19号発行した。季節柄に合わせて発行	

④心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の福祉サービスや保健医療サービスの利用状況等の把握に努めた。また、家族と密接な連携をとり、情報を共有した。

(3) 家族とのつながり

相談を受けたときは、真摯に受け止め、職員全員で問題に向き合い、可能な限り意向に沿うよう努力した。難しい事案については、保護者との話し合いの中から妥協点を探し安心できるよう心がけた。

項目	内容	年間
相談支援	利用者の家族に対し、福祉サービスに関わる相談や助言を行った。	337回
面談	利用者、保護者のニーズを個別支援計画につなげた	1人2回
行事の開催	クリスマス会 ※新型コロナウイルス感染症予防の為、保護者を招いての実施はせず。	

(4) 他機関との連携

行政・医療・相談支援事業所・特別支援学校等の実習受け入れの連絡調整を行った。サービス等利用計画作成時、相談支援事業所と連絡調整・面談時同席した。家庭の事情に寄り添って他事業所と連携をとり、日中一時や短期入所の福祉サービスが使えるように計らい、送迎サービスを行った。

(20名×2回) + (20名×2回) 延べ80回

(5) 人権擁護と虐待の防止

常に、利用者それぞれ人権を尊重し安心して生活できるよう支援者の意識を統一した。

項目	内容	年間
職員行動規範	利用者の権利擁護、虐待の防止等のための責任者を選んだ。	1回
	施設内人権研修	1回
	施設外人権研修	1回
苦情解決	苦情・意見・要望に対し、初期対応を迅速に行い、対策を講じる体制をとったが、苦情等が無かった。	苦情0件 その他0件
	福祉サービス運営委員会（感染症対応のため実施せず）	0回
リスクマネジメントの推進	ヒヤリハット報告書51件 事故報告書6件 ・人身 6件 ・物損 1件	
	施設内研修（報告書の見直し・検討）	4回
虐待防止	虐待防止委員会を設置し、虐待の予防・早期発見・早期対応、さらに再発防止・啓発活動に努める	0回

	施設内研修（虐待防止）	2回
--	-------------	----

（6）職員の資質向上・福利厚生

利用者やその家族との信頼関係を維持向上させ、利用者が豊かで充実した人生を自己実現できるよう支援し、社会福祉施設としての目的を達成するために、全職員で研修を行い、資質の向上に努めた。

項目	内容	年間
職員会議	翌月の行事計画等の打ち合わせ、確認等	12回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	40回
施設内研修	業務改善 人権研修 事例検討など	7回
施設外研修	県や経営協等主催の研修会への参加	2回
申し送り	当日・翌日の業務連絡・確認	朝夕1回
健康管理	看護師による職員の健康相談	随時
	健康診断	年2回

（7）地域交流

利用者が社会と関わることで、何らかの刺激を受け、または、刺激を与えることで、双方の理解を深めることを目的に、地域社会と関わる行事を行う予定だったが、コロナ禍のこともありやもえず中止にした。

項目	内容	日 or 人数
夕涼み交流会	新型コロナウイルス感染症予防の為、地域の人を招いての実施はせず。利用者と職員で「夏祭り」として行った。	
餅つき	新型コロナウイルス感染症対応の為、地域の人を招いての実施はせず。利用者と職員で行った。	
戸次文化祭	大南公民館で行われる文化祭への利用者作品出品	不参加
実習受け入れ	各支援学校の実習生受け入れ 延べ（8日）	2人
	大分南高校福祉科の1年生実習受け入れ	0人
	大分芸術短期大学からのインターシップ受け入れ	0人
	介護体験実習での学生受け入れ	0人
『やわらぎ』	通信『やわらぎ』86～88号発行 計3号	

（8）非常災害対策

利用者が被災時に落ち着いて避難行動ができるよう、継続して訓練を行なった。

項目	内容	頻度等
避難訓練	火事・地震・水害を想定しての避難・誘導訓練	11回
総合消防訓練	総合訓練（通報・消火・避難訓練）	1回
消防用設備点検	定期点検（業者委託）	1回
	自主点検	12回

	消防署立ち入り検査（感染症対応の為、電話にて指示を受けた）	電話対応
--	-------------------------------	------

（9） 宿泊支援：ライフサポート(自立生活促進事業)

家庭的社会的自立の一環として宿泊支援を行った。新型コロナウイルス感染症流行の世情を鑑み、定期的な利用は無かった。保護者の入院により緊急で1日行う事となった。

項目	内容	年間
宿泊支援	利用者1名	延べ1回

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会 ケアホームすぎのき
共同生活援助事業 (介護サービス包括型)
短期入所事業 (空床利用型)

「ケアホームすぎのき」も令和4年4月で10周年を迎え、11月にはささやかながら10周年のお祝いの会を開催しました。お祝いの会では、この10年を振り返るとともに、10年間利用して頂いた利用者の頑張りを称え、また、それを支えてきた職員へ感謝の意を表しました。

今後は、利用者の加齢、障害の重度化、利用者の家族の高齢化、家族環境の変化等々により、様々な課題が現実のものとなると思われます。これから先を見据えた事業所の運営、利用者支援を考える必要に迫られており、法人としてこれからのあり方を考えていく必要があると思います。

1. 事業概要

令和4年度事業計画の基本方針及び重点事項に基づき、利用者支援を行なった。

令和4年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症が流行し、様々な影響を受けた1年となった。手洗い、手指の消毒、換気の徹底、空気清浄機等の活用などをし、利用者の体調管理には十分に配慮した。

夕涼み会、クリスマス会などの行事は、感染対策を徹底して行った。

また、新型コロナウイルスの感染者は出なかったが、感染の可能性が考えられるケース（結果は陰性）は発生し、現状でできる範囲での対応は行なった。しかし、感染者が出た場合の対応や運営は現実的にはかなり難しいものであると思われる。新型コロナウイルスを始め、感染症が発生した際に法人としてどのような対応策をとるのかの検討は今年度もなかった。

2. 職員配置

職 種	管理者	事務員	サビ管	世話人	生活支援員
人 数	1	1	1	3	20
備 考	兼 務	兼 務	兼 務	専 従 2 シルバー 1	兼 務 12 専 従 (宿直) 2 シルバー (宿直) 2 シルバー (日直) 1

[令和5年3月末日現在]

3. 事業内容

利用者の状況

共同生活援助事業 [定員 6 名]	入居者	4 名	(男性)
短期入所事業 (空床利用型)	利用契約者	3 名	(男性)

〔令和 5 年 3 月末日現在〕

利用者障がい支援区分

	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
共同生活援助 利用契約者		1 名	1 名	2 名		4 名
短期入所事業 利用契約者			1 名	1 名	1 名	3 名

〔令和 5 年 3 月末日現在〕

日中利用施設

	杉の木園	第二杉の木園	やまびこ広場 (幸福会)	合 計
共同生活援助 入居者	3 名		1 名	4 名
短期入所事業 利用契約者	1 名	2 名		3 名

〔令和 5 年 3 月末日現在〕

利用状況 【共同生活援助事業】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360
延べ 利用者数	82	98	107	104	108	99	106	104	97	96	98	111	1172
1日平均 利用者数	2.73	3.16	3.56	3.35	3.48	3.3	3.41	3.46	3.34	3.42	3.5	3.58	3.25

(小数点第 2 位以下切り上げ)

利用状況 【短期入所事業】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
利用日数	8	8	10	8	7	12	8	9	9	6	8	10	103

① 利用者支援

種 類	内容等
個別支援計画書の作成と実施	年 2 回 6 か月毎 (共同生活援助事業)
利用者の状況に応じた 支援・介護の提供	相談及び援助
	食 事
	更 衣
	排 泄
	移 動
	コミュニケーション
	対人関係
	自立へ向けた支援
買い物支援	水、土、日曜日及び祝日
買い物代行	利用者個々の消耗品の代理購入 歯ブラシ歯磨き粉、電池、水、等々
食事の提供	栄養のバランス、身体や健康の状況、希望や嗜好を考慮して提供した。 健康診断の結果に看護師が注意事項を記入したものを世話人へ渡し、それを考慮した食事を提供した。行事の際は、行事食を提供した。
健康維持管理	衣服の調節
	室温・湿度管理 利用者の居室のエアコンは、基本、職員が管理。
	検温（毎朝） 症状記録シートの記入
	服薬管理・服薬介助 3名 その他、風邪薬等、必要に応じて随時 塗布薬介助 2名 その他、痒み止め等、必要に応じて随時
	感染症予防対策 換気の徹底 消毒液の使用等 空気清浄機 3 台、加湿空気清浄機 2 台、 加湿器 4 台、紫外線洗浄機 1 台を使用 食卓テーブルにパーテーションを設置
	緊急時対応 夜間、土日祝日に、病院受診などの対応はなし。
	保護者との連絡、杉の木園及び幸福会との連絡を密にする事で、健康状態の把握に努めた。 体調不良の際は保護者に連絡したり、看護師に相談したりするなどして対応した。
	体験利用の受け入れ (空き部屋を利用)
短期入所事業 (空床利用型)	利用者に対して利便性の向上を図り、地域での自立した生活に繋がるよう支援を行った。

② 家族とのつながり

項目	内容	頻度等
相談対応	家族からの相談には真摯な態度で対応した。	杉の木園での保護者面談時 保護者の杉の木園来園時 電話での対応
面談	家族からの意見・要望を傾聴した。 個別支援計画書作成に関する話をした。	年1回 その他 杉の木園での保護者面談時、 保護者が杉の木園来園時、 帰宅送迎時、電話での対応等
相談支援に関すること	相談支援に関する会議への出席、及び内容の説明や相談・助言など。	年1回 担当者会議 モニタリング

③ 他機関との連携

項目	内容	頻度等
他の福祉サービス事業所	連絡調整、情報交換等	随時 同法人の日中の事業所との連絡、相談等。 幸福会との連絡、相談等。 連絡等あった際はサビ管が「連絡事項」を作成し、世話人、宿直職員、日直職員、日中の事業所の職員へ周知し、情報の共有に努めた。
行政機関	連絡調整、相談等	随時 各種手続きや申請等
医療機関	相談、情報交換、受診の付き添い、介助等	精神科通院介助 定期通院 2ヵ月1回 (1名) 内科通院介助 定期通院 2ヵ月1回 (1名) 泌尿器科通院介助 定期通院 1ヵ月1回 (1名)
相談支援事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随時 会議の日程調整 生活の様子説明等

④ 人権擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の徹底を図った。	年2回 同法人の日中の事業所での職員会議にて行った。
	施設内で人権に関する研修を行った。	年2回 同法人の日中の事業所での職員会議にて行った。
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口での対応。	苦情等は無し。
	福祉サービス運営委員会	年2回
虐待防止	虐待防止に関する相談等は、相談窓口にて対応。	相談等は無し。

⑤ リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
ヒヤリハット報告書	内容の周知、検討、対策	ヒヤリハット報告書の報告無し。 別途作成している「特記事項記録表」に特記事項がある場合は記録。 周知すべきものがあれば、サビ管が連絡事項に記載して周知した。
事故報告書	内容の周知、検討、対策	無し

⑥ 職員の資質向上

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・支援・行事・施設運営等に関する事など。	杉の木会合同職員会議 令和5年2月25日
シルバー雇用者会議	利用者・支援等に関する事など。	新型コロナの感染拡大を考慮し、中止。
施設外研修	県や経営協などが主催する研修会への参加。	新型コロナ感染拡大の影響により、共同生活援助関係の研修の開催はなし。

⑦ 非常災害対策

項目	頻度等
避難訓練の実施	8月24日 12月21日
消防用設備の点検	新日本消防設備に委託 6月、12月に実施。(年2回)

消防用設備の自主点検	年1回
消防署立入検査	12月20日 査察の結果、不備、欠陥事項なし。

⑧ 主な行事

実施日	行事	備考
8月24日	夕涼み会	利用者5名（内1名は短期入所利用者）、職員2名、世話人1名、計8名が参加。 食事会やゲーム、花火などを行った。
8月24日	野津原お祭り	中止。
11月25日	10周年お祝いの会	利用者3名、職員6名、世話人1名、計10名が参加。 食事会やスライドショーで10年間の振り返りなどを行った。
12月21日	クリスマス会	利用者4名（内1名は短期入所利用者）、職員1名、世話人1名、計6名が参加。 食事会やゲームなどを行った。
その他	お誕生日会	各利用者の誕生月に行った。 （4・5・10・12月）